



来る者を拒むかの様な猛吹雪でした。時には、立ってられない灼熱。一秒一秒姿を変える砂丘。あなたの砂丘は？

（冬の鳥取砂丘） 撮影者／佐々木寿（鳥取県鳥取市本町在住） 協力／中村仁史

その人は言ったのです。鳥取県出身です、と自己紹介をすると鳥取県の人に初めて会った！と言われます。何を隠そう、私も東京では鳥取県人は私ぐらいだろうと思込んでいた一人。そんな私は夢実現のために東京にやってきました。

世田谷区下北沢のカフェへ音楽イベントが行われていました。のりのよいダンスサンプルな音。声ともに盛り上がっていました。このイベントの主催は、DJ・ビートメーカー・オーガナイザー 紅銅鐘衛門（レッドドラエモン）／鳥取市服部出身の依藤康延（よりふじ やすのぶ）さんです。高校大学時代は、ロックバンドのギタリストとして活動／大学在学時にヒップホップにはまり／大学を卒業後 鳥取県での仕事を経て／音楽と翻訳家の夢が諦めきれず東京へ／今はドラマ・映画・ドキュメンタリー・スポーツ・音楽番組等の映像翻訳字幕の仕事と音楽活動もされています。

以前は、インスタヒップホップを作っていたという依藤さんお題をサンプリングネタにビートを作成するという「サンプリング道場」は、依藤さんが発案し知人に声をかけて下北沢のこのカフェから始まりました。渋谷のギャラリで絵と音楽のライブイベント等も主催。「サンプリング道場」からこれからの実力あるラッパーとビーターメーカーを輩出し、若者中心のイメージを変え、年齢等問わずどんな人でも楽しめるイベントにしたい。勿論、故郷鳥取でもイベント実現に貢献したいと、夢を語る依藤さんでした。



▲依藤さん

以前は、インスタヒップホップを作っていたという依藤さんお題をサンプリングネタにビートを作成するという「サンプリング道場」は、依藤さんが発案し知人に声をかけて下北沢のこのカフェから始まりました。渋谷のギャラリで絵と音楽のライブイベント等も主催。「サンプリング道場」からこれからの実力あるラッパーとビーターメーカーを輩出し、若者中心のイメージを変え、年齢等問わずどんな人でも楽しめるイベントにしたい。勿論、故郷鳥取でもイベント実現に貢献したいと、夢を語る依藤さんでした。



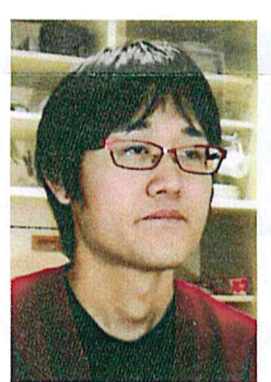
イラスト／かわにしよと

ナレーター・パーソナリティの金田ちかこさんが綴る、鳥取県人ストーリーが始まりました。シリーズ第1回です。

1回 ミュージシャンと翻訳をやっている 依藤康延さん

お会いしてきました。その人に。 \* \* \*

クイズ「東大王」のチャンピオンは鳥取市出身の東大生鶴崎修功さん



▲鶴崎さん

テレビで人気のクイズ番組といえば、東大生4人に物知り芸能人12名が知識を競う早押しクイズや漢字読みとりオセロなるゲームだが、この「東大王」チャンピオンの一人に鳥取県出身の東大生がいると聞いて訪問した。鳥取県学生寮明倫館にである。その人鶴崎修功（つるさきひさのり）さんは、鳥取市出身で鳥取大学附属小・中学校から鳥取西校を卒業、現在東大理学部数学科在籍中でこの4月から大学院生になる。IQ165の天才知識王と聞けば誰もが恐れおののくが、対面してみればごく普通の好青年で、初見の内気そうな所はまさしく「とっとり人」のそれ。話し出せば理路整然とした答えが返ってくるから小気味が良い。つい、こちらが気負って「アインシュタインは・・・」なんて言葉が発すれば、おくせず、「物理数学ですね。自分は数学的数学をやりますので、将来はパソコン情報系の数学をやってゆきたい」と、超難解な答え。小・中時代に算数オリンピックで全国決勝の常連者だったという経歴が2016年に「クイズ東大王チャンピオン」に繋がっていると知らされた。酒はダメだが、趣味はクイズとスマホゲームというから天才青年というより「知ること大好き青年」というのが当たっている。

（この項 文・写真 遠藤隆司）

ふるさとの山、「大山」が開山一三〇〇年を迎えた

クラブセブンティ会員 悟 謙次郎



▲悟さん

鳥取県中西部の住民には「大山」がふるさとの山であると同様に鳥取市民には「扇ノ山」がいつも東にそびえる。鳥取県民が仰ぎ見る「大山」や「扇ノ山」は名山の条件を十二分に満たしている。（今年正月9日、日本海新聞のコラム、「海潮音」の一節である） 永くふるさとを離れ、異郷で生活する者にとって、久しぶりに目にするふるさとの山河は、母のぬくもりにも似た情景を感じさせる。人は皆、母国とか、母校などと、自分が帰っていきべき場所、心から安らぐ場所を必ず持っている。時折、その場所を尋ねて、昔の面影を追い求め、自らの生い立ちを確かめるように振り返る。 子供の頃、生活の中にあった心のふるさとは、田園の家並や森や川や海が広がり、その背景には遙かに冠雪の山々が連なり、晴れた日にはふるさとの山、

伯耆国「大山開山」1300年祭

大山寺が開創されてから、今年、開山1300年目を迎える。5月11日から13日、大山寺で「大山開山1300年祭」が開催される。自然の恵み、文化のたぐひ、祈りの体、体験の催し、食の楽しみ、様々な催しをお楽しみください。

大山の大献灯

御輿行列

大山登山

たいまつ行列

【お問い合わせ】伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会 TEL0859-31-9371 【公式HP】http://www.daisen1300.org/



# 会員活動のあれこれ

文・写真 遠藤 隆司

## その1 倉益紀子さんが「民謡ライブ」を行う



▲倉益さん

於倉益の第1回公演として、年明け間もない1月21日(日)会員で民謡歌手の倉益紀子さんが東京赤坂のクラブシルビーで自身が座長を務める「民謡ライブ」を行った。今年も民謡で勝負する宣言、10代から名取りである「正調安来節」で幕を開けた。司会は絶妙な柳家小団治が務め、感勢のよい「ソーラン節」から「元唄貝殻節」を踊り付きてたっぷり披露した。最近では相撲甚句にも挑戦している、隅田川相撲甚句会との共演もあった。舞台仲間の応援も多数駆けつけ、会場は超満員の盛況、幕間では彼女得意の占相談(高島易断やどじょう揃いの師範の踊りもあって、たっぷり2時間のライブを演じ終えた。



▲景山さん

その2  
会員の景山正さんからコンサートに誘われた。ご自身がオペラを披露するというのだ。2月25日(日)、それは横浜市青葉区民文化センターで行われた。会場は立錐の余地もないほど超満員。プログラムには青葉地区から全国へ発信する音楽イベントとあり、「65歳からのアートライブ」と銘打っている。そして、驚いたことに、うたい手さんたちの年齢が60代はもとより、70歳80歳90歳代の人たちが居るということだ。  
第1部の12番目に待ってましたと景山さんが登場。うしろの看板には「アトライブ3大テナーの饗宴」とあって、景山正さん(パヴァロットイ役82歳)広町彰久さん(カレース役80歳)堀田裕久さん(ドミンゴ役66歳)が声を競い、景山さんのうたい時には突然何やら不思議な変装をしあってコミカルな雰囲気をもたらし出し、3人のその声量には500人の観客が圧倒させられた。オーソレミオならぬ、おそれみかか!といった風でもあった。景山さんはそのあと、第2部「荒城の月」「椰子の裏」といった日本の心のうたにも合唱で出演された。

## その3 ソプラノ歌手徳山奈奈さんが熱唱



▲徳山さん

鳥取県境港出身で国立音大と芸大の両方を卒業しているソプラノ歌手徳山奈奈さんのリサイタルが去る3月21日(水)立川市のアイムホールで催された。歌曲「春よ」で幕開けしたが、その日の東京は生憎雪が舞っていて、ご本人の挨拶の中でも「春を一杯よび込みたい」と宣言、後半の衣装変えではピンク色のロングドレスで登場(ロミオとジュリエット)他歌劇アリアを存分に披露した。  
前半は西洋と日本の歌曲、後半は17曲を熱唱、中でも客演のバリトン歌手堺裕馬氏との合唱は聞き応えがあった。

## その4 畑中さんの革工芸絵画

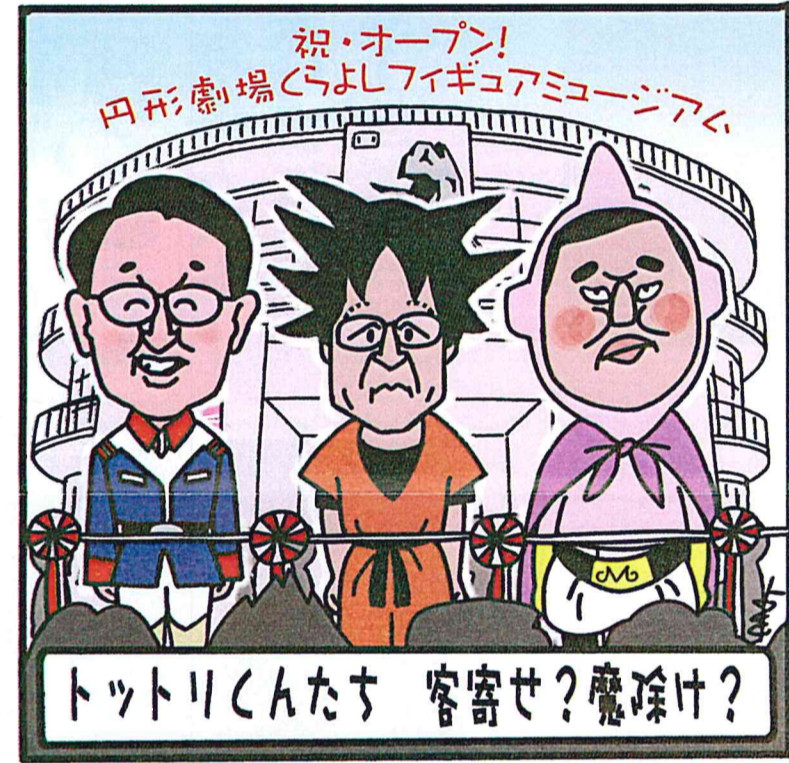


▲徳山さん

去る3月1日から6日まで畑中静子さんの「皮革工芸二人展」というのが開かれていて、初日の夕刻国立駅そばの「ギャラリー悠」に出掛けて拝見した。  
畑中さんは、8年前に本紙の随想リレーで「暮らしの中の革工芸」を執筆されていた。筆者とは同じ練馬区在住で、地域の福祉活動にも係わり、地域の福祉施設に通う利用者への趣味活動の支援として革工芸の指導をしているとも聞いていた。主婦を卒業してからの手遊びともいう。  
今回の出し物の圧巻は、壁面に掲げられた8点の皮革絵画である。それは皮革とは思えない、

## 魅力ある交流・親睦のために

鳥取県人の親睦・交流を図るとともに、その活躍を支援し、故郷の発展に寄与できる交流活動を今年もいろいろ計画しています。  
\* \* \*  
5月6日(日)  
ガイナレ鳥取応援デー第一弾「FC東京U23戦」(北区西が丘・味の素フィールド西が丘・14時キックオフ)にご一緒しましょう!  
今年もベテランFWフェルナンジーニョに加え、有望若手FWレオナルド、MFガブリエルが加入(3ブラジル人!)し、3月11日の鹿兒島ユナイテッド戦に2・0で勝利、J3優勝を目指して頑張るガイナレの応援に出かけましょう!事前申し込み不要。当日、13時に味の素フィールド西が丘チケット売り場付近で岸本幹事がお待ちしております。  
\* \* \*  
5月18日(金)  
春の因伯オープンゴルフ大会開催キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)8組9時30分スタートで予定しています。東中西部対抗戦です。初参加大歓迎誘い合わせてご参加ください。(県人会徳田



▲漫画/かわにしよしと

「交流部会」  
魅力ある交流・親睦のために  
部会長 勝部日出男  
常任幹事(お申し込み込み)  
\* \* \*  
5月18日(金)  
初めての故郷貢献企画として鳥取県内の青年会議所若手経営者を迎えて交流・懇談会を催します。詳細については別紙同封チラシをご確認ください。  
\* \* \*  
5月26日(土)  
春の囲碁大会は、4回目のマスコミ囲碁同好会との対局をダイヤモンド囲碁サロンにて10時30分より開催します。ご希望の方は県人会囲碁同好会萬治会長(県人会名誉会長)または、西尾憲之さんまでご連絡ください。  
この他、秋の囲碁大会(ダイヤモンド囲碁サロン)・ゴルフ大会(湘南カントリークラブ)、ガイナレ応援デー第二弾(11月24日YS横浜戦・横浜ニッパツスタジアム)、県ゆかりの人物・話題を軸に講演・トークイベント・レストラングループの会、美術鑑賞会、晩秋恒例の歌舞伎鑑賞会等魅力ある企画を進め、県人の交流・親睦・

編集後記  
▼今年の花は早く咲き早く散って行った。「散る桜残る桜も散る桜」「ささやまの事もい出す桜かな」そんな古人の句を連想した。  
▼「梨花」は本号で57号目を迎えた。復刊1号から19年が経ったことになる。20年目の60号が節目でもあり筆者もそれまでは頑張り筆を執り続けてきた。もう一つ、お2人が初めて参加した編集会議は、去る3月12日、参宮橋の福井宏一郎氏事務所(福井)夫妻、小泉典子さん、かわにしよしと

啓発とともに会員勧誘の機会をこ案内して参りますので、積極的なご協力・ご参画をお願いいたします。ご不明点等は県人会事務局  
03-5212-9178

株式会社 チュウブ  
代表取締役 会長 大田 英二  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1-29-6  
水天宮前東急ビル6F  
TEL 03-5640-8122  
FAX 03-5640-8100

日辰は、信頼され発展する企業を目指します。  
業務用酒類・食材総合卸  
株式会社 日辰  
会長 梅原清辰(南部町出身)  
本社/〒177-0033 東京都練馬区高野台1-18-15  
TEL 03-3904-1929  
営業所/東京(台東) 神奈川(横浜) 千葉(柏) 群馬(伊勢崎) 東京(練馬北) 埼玉(岩槻)  
関連会社/株式会社梅食(当社オリジナル食品の製造・加工)